

こどもの城 ニュース



「親子で楽しむ スペースアドベンチャー」

こどもの日のファミリー向けプログラムとして「スペース・アドベンチャー」日本橋高島屋スペース、日本アタリカ株式会社協賛で五月三日から五日まで、青山円形劇場で開かれました。

真。子どもたちの歌やダンス、トランプや帽子店のコーナーや、なつかしいフラッシュゲームも登場して、親子の歓声が会場いっぱいにあふれました。

最優秀賞に木田さん フォト・コンテスト入選決まる スタンプラリーは6,500人参加

「こどもの城」NHK展示「ラザ」(電力館「たばこ」の博物館)共催の「第四回渋谷春のスタンプラリー」は三月十九日から五月七日まで行われ、約六千五百人が参加しました。

これは、昨年の春より二千五百人増えて、今年度の夏休みには、さらにたくさんの方々が参加する見込みで、早くも各方面から期待が寄せられています。

これと同時に「ラザ」グループの協賛で行われた「フォトコンテスト」写真ポスター「スタンプラリー」には五百五十以上の応募があり、審査の結果、下の写真の方々が入選しました。このコンテストは、また夏休みに行われ、ぜひご応募ください。

魔王をたおせ!

ゴールデン・ウィークの人気ゲーム キャッスル・クエスト

こどもの城全館を使ったタナミツクな体験ゲーム「キャッスルクエスト」が、ゴールデンウィークの四月十九日から五月七日まで行われ、幼児からおとなまで六千人が参加、大好評でした。

これは、参加者ひとりひとりが「勇者」になり、館内のあちこちで魔物と対決したり、ナゾを解いたりして、最後はみんな力を合わせて「魔王ラバナ」をたおすという、新形式のゲーム。

ハラハラドキドキの連続でインテネシアの民族音楽がカマランの演奏が神秘的な色をそまえました。



「若き勇者よ、さあ、ナゾをたいてまいれ！」



「ラバナをたおせ! エイエイ、オー」



「ボクわかったよ」シッ、小さい声でネー



魔物をたおした証拠に、老人がリングをわたす



体育室にもうけられた輪をくぐって、力の修行



どれが早いかな—おもちゃの競争で運だめし



「魔王」を呼び出すために「ガムラン」の演奏



ついに「魔王ラバナ」がスクリーンに現れた!

こどもの城賞「頑張るぞ!スタンプラリー」

千葉県野田市 鈴木 裕己さん



最優秀賞「ジャンプ」

埼玉県上福岡市 木田 昌夫さん

なかよしどうして賞「お姉さんは天才」

東京都品川区 大塚 たか子さん



明るい家族で賞「いとこ家族」

山形県飽海郡遊佐町 阿曾 孝弘さん

楽しい仲間と賞「たのしいのりもの」

千葉県市川市 塚本 住子さん



すてきな笑顔で賞「へーイやったね!」

東京都調布市 吉田 美紀さん

写真で夏だより

郵政省発行 くじ付「かもめ-3」仕上げて送れます

フジカラーポストカード

1枚 80円 + 41円

10枚以上 1枚 90円 + 41円

こどもの城ニュースに、皆さんのご城で写された写真をこの紙面に

山崎 与志子さん

東京都大田区

「のれたよー」

〒150 東京都渋谷区神宮前5-53-1
電話 03-797-5666
開館時間 平日 午後1時~午後6時
学校の季節休み、土・日・祝祭日は(前10時より閉館いたします)
休館日 (月曜日が祝祭日の場合は火曜日、また学校の季節休み中は変更いたします)
入館料 18歳未満 310円・おとな 410円
(いずれも消費税を含みます。なお、同伴の6歳未満児は無料です)

交通 渋谷駅(東急文化会館11)・地下鉄表参道駅(B2出口)から徒歩7~10分
レストラン、軽食、喫茶店、ホテル、研修(会議)室、売店、ギャラリー、駐車場(70台収容)併設
青山劇場・青山円形劇場/電話 03-797-5678

読者の一枚

全10巻 VHS (20話) 1巻2話入り/約25分

オールアニメーション 渡辺徹・榊原都恵

¥1,930

お問合せは TDKコア株式会社 TEL.03-555-1131

MIKI HOUSE COLLECTION

三起商行株式会社 大阪府八尾市大塚936 〒581 TEL.0729-41-3225

僕とパパとのサイクリング・レース。

ピューと風をきる。腰を上げ、くいくいとペダルをこく。さあ、直線コースだ。スタートをかけてやる。いっしょに走っている。ふわっと体が軽くなるんだ。そう、まるで空を飛んだような気分。パパの背中がぐんぐん近づいてくる。よし、あとひとふんばり。パパと並んだぞ。もうすぐゴールだ。さっとパパの自転車に駆け出した。ゴールイン……。パパは後ろを振り向きVサインをおくる。もっともっと速く走れるようになったらもう一回、男どししの勝負をするんだ。

僕とパパとのサイクリング・レース。

さあ、直線コースだ。スタートをかけてやる。いっしょに走っている。ふわっと体が軽くなるんだ。そう、まるで空を飛んだような気分。パパの背中がぐんぐん近づいてくる。よし、あとひとふんばり。パパと並んだぞ。もうすぐゴールだ。さっとパパの自転車に駆け出した。ゴールイン……。パパは後ろを振り向きVサインをおくる。もっともっと速く走れるようになったらもう一回、男どししの勝負をするんだ。

「こどもの城造形事業部の『こどもクリエイティブ・クラブ』のひとつに『アニメ体験』というコースがある。アニメを通して、創造性を高めるというコンセプト。小学校三年から高校生までの子供たちが参加している。アニメ制作は、特殊な技術や知識が必要で、子供たちには無理なところがある。ところが、このクラブでは家庭用のビデオ機器を子供たちが自在に扱って、それぞれのアニメ制作に励んでいる。

踊ったぞ！アニメづくりで創造性はぐくむ

アニメ体験は造形部のコースを行っている。最初は、一枚の絵で作る。十分までの一時間半、一期はだいたいのアニメ作り。動かさない絵が動いて見えること。十回のコース、対象は小学校三年から高校生、定員は三十人。六十二年度の体験から始めたが、反響する動き。エミーションの実施し、作りの繰り返しが、確かに動いて見える。びびりしたた後、六十四年度から格的にスタート。現在五回目。たまたま、けんけんとして



▲みんなで協力して、アニメの撮影

やたらと満足げな顔。いろいろな表情が現れる。生ものなイメージに生命が与えられ、あたかも生きていくもののように動き出す。このアニメの本来的な意味は、体験的に知るようになる。次に、えんぴつやはさみなどの文房具、ペンチなどの工具、ボルや針金、ありとあらゆるものに生命を吹き込み、少しずつ動かしながら、コマ撮りしていく。

ビデオを使った『アニメ体験』

「みる」という視点から、視点でなく、つらつと、学校三年の広瀬さん。テラスでつらつと、撮影をする。えんぴつがダンスを踊っているアニメができた。

「みる」という視点から、視点でなく、つらつと、学校三年の広瀬さん。テラスでつらつと、撮影をする。えんぴつがダンスを踊っているアニメができた。



▲浜本(小5)の作品

「みる」という視点から、視点でなく、つらつと、学校三年の広瀬さん。テラスでつらつと、撮影をする。えんぴつがダンスを踊っているアニメができた。

「みる」という視点から、視点でなく、つらつと、学校三年の広瀬さん。テラスでつらつと、撮影をする。えんぴつがダンスを踊っているアニメができた。

「みる」という視点から、視点でなく、つらつと、学校三年の広瀬さん。テラスでつらつと、撮影をする。えんぴつがダンスを踊っているアニメができた。

「みる」という視点から、視点でなく、つらつと、学校三年の広瀬さん。テラスでつらつと、撮影をする。えんぴつがダンスを踊っているアニメができた。

「みる」という視点から、視点でなく、つらつと、学校三年の広瀬さん。テラスでつらつと、撮影をする。えんぴつがダンスを踊っているアニメができた。

「みる」という視点から、視点でなく、つらつと、学校三年の広瀬さん。テラスでつらつと、撮影をする。えんぴつがダンスを踊っているアニメができた。

「みる」という視点から、視点でなく、つらつと、学校三年の広瀬さん。テラスでつらつと、撮影をする。えんぴつがダンスを踊っているアニメができた。

「みる」という視点から、視点でなく、つらつと、学校三年の広瀬さん。テラスでつらつと、撮影をする。えんぴつがダンスを踊っているアニメができた。

「みる」という視点から、視点でなく、つらつと、学校三年の広瀬さん。テラスでつらつと、撮影をする。えんぴつがダンスを踊っているアニメができた。

「みる」という視点から、視点でなく、つらつと、学校三年の広瀬さん。テラスでつらつと、撮影をする。えんぴつがダンスを踊っているアニメができた。

「みる」という視点から、視点でなく、つらつと、学校三年の広瀬さん。テラスでつらつと、撮影をする。えんぴつがダンスを踊っているアニメができた。

「みる」という視点から、視点でなく、つらつと、学校三年の広瀬さん。テラスでつらつと、撮影をする。えんぴつがダンスを踊っているアニメができた。

「みる」という視点から、視点でなく、つらつと、学校三年の広瀬さん。テラスでつらつと、撮影をする。えんぴつがダンスを踊っているアニメができた。

六カ月かけて一分半の大作

「はじめてこどもの城に」六カ月かけて一分半の大作。どれくらいか、いじり、子供たちの作ったアニメの完成だ。

「はじめてこどもの城に」六カ月かけて一分半の大作。どれくらいか、いじり、子供たちの作ったアニメの完成だ。

「はじめてこどもの城に」六カ月かけて一分半の大作。どれくらいか、いじり、子供たちの作ったアニメの完成だ。

「はじめてこどもの城に」六カ月かけて一分半の大作。どれくらいか、いじり、子供たちの作ったアニメの完成だ。

「はじめてこどもの城に」六カ月かけて一分半の大作。どれくらいか、いじり、子供たちの作ったアニメの完成だ。

興味をのびやかに！

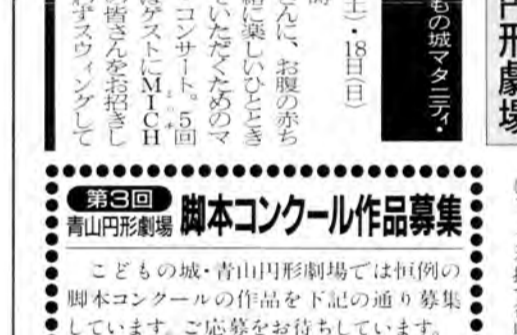
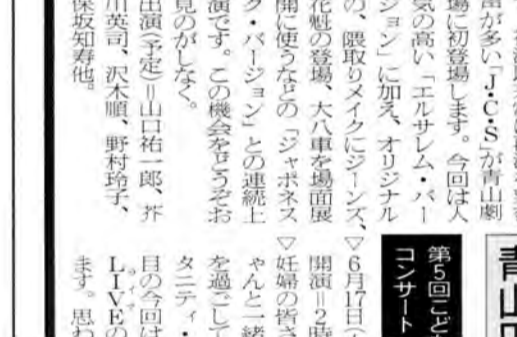
興味をのびやかに！少人数で新鮮な体験。クラブをほじめた時から、定員は十名、指導者二人、一、二、三、う、ゆ、た、り、とした環境で活動している。子供たちと指導者の関係を大切に、その中で、自分の考えを深め、興味をのびやかに、活動を楽しむことができる。

興味をのびやかに！少人数で新鮮な体験。クラブをほじめた時から、定員は十名、指導者二人、一、二、三、う、ゆ、た、り、とした環境で活動している。子供たちと指導者の関係を大切に、その中で、自分の考えを深め、興味をのびやかに、活動を楽しむことができる。

興味をのびやかに！少人数で新鮮な体験。クラブをほじめた時から、定員は十名、指導者二人、一、二、三、う、ゆ、た、り、とした環境で活動している。子供たちと指導者の関係を大切に、その中で、自分の考えを深め、興味をのびやかに、活動を楽しむことができる。

興味をのびやかに！少人数で新鮮な体験。クラブをほじめた時から、定員は十名、指導者二人、一、二、三、う、ゆ、た、り、とした環境で活動している。子供たちと指導者の関係を大切に、その中で、自分の考えを深め、興味をのびやかに、活動を楽しむことができる。

マックと仲間たち



マックと仲間たち。さく。きたぐちよしのぶ。丸。あらい えみこ。

マックと仲間たち。さく。きたぐちよしのぶ。丸。あらい えみこ。

マックと仲間たち。さく。きたぐちよしのぶ。丸。あらい えみこ。

マックと仲間たち。さく。きたぐちよしのぶ。丸。あらい えみこ。

マックと仲間たち。さく。きたぐちよしのぶ。丸。あらい えみこ。

7月21日から夏休み特別期間

7月21日から夏休み特別期間。マックと仲間たち。さく。きたぐちよしのぶ。丸。あらい えみこ。

7月21日から夏休み特別期間。マックと仲間たち。さく。きたぐちよしのぶ。丸。あらい えみこ。

7月21日から夏休み特別期間。マックと仲間たち。さく。きたぐちよしのぶ。丸。あらい えみこ。

7月21日から夏休み特別期間。マックと仲間たち。さく。きたぐちよしのぶ。丸。あらい えみこ。

7月21日から夏休み特別期間。マックと仲間たち。さく。きたぐちよしのぶ。丸。あらい えみこ。

7月21日から夏休み特別期間。マックと仲間たち。さく。きたぐちよしのぶ。丸。あらい えみこ。

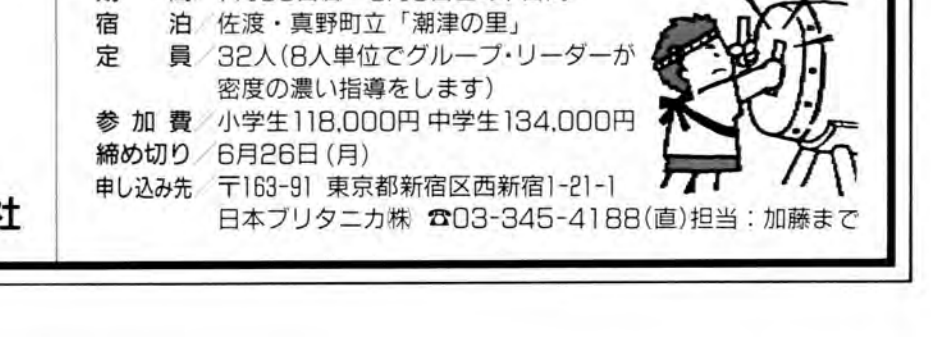
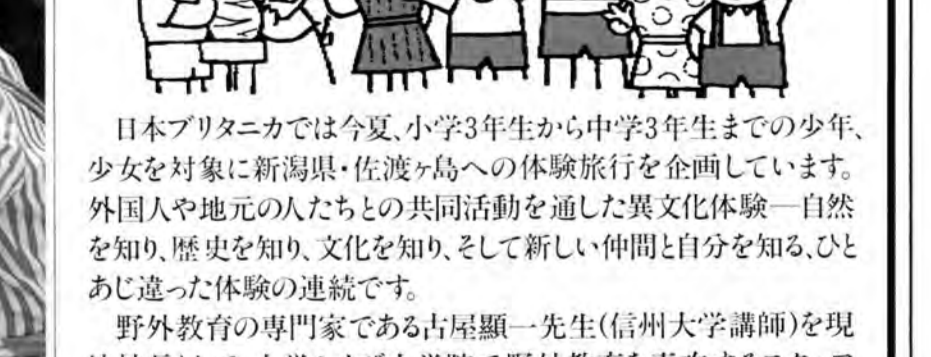
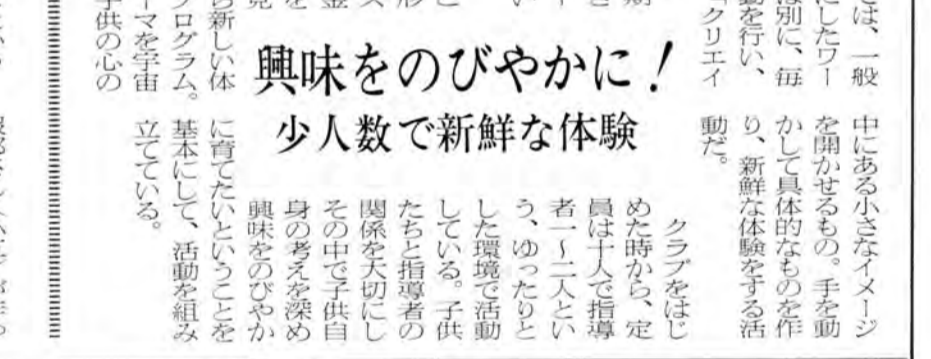
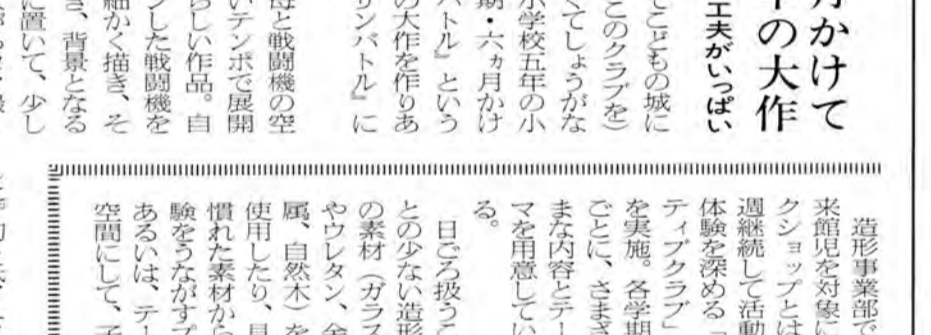
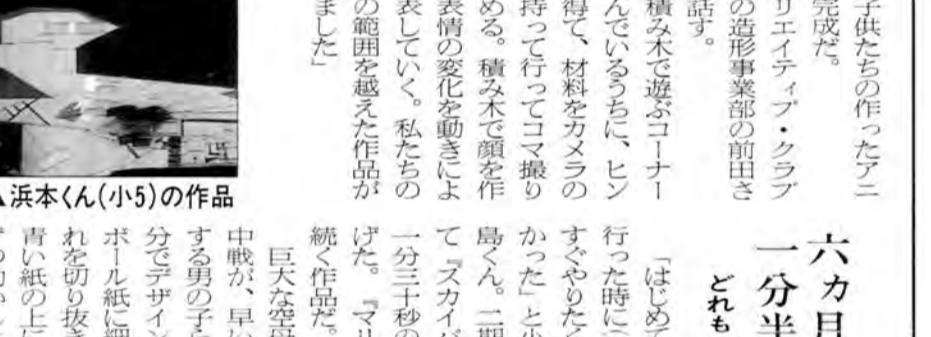
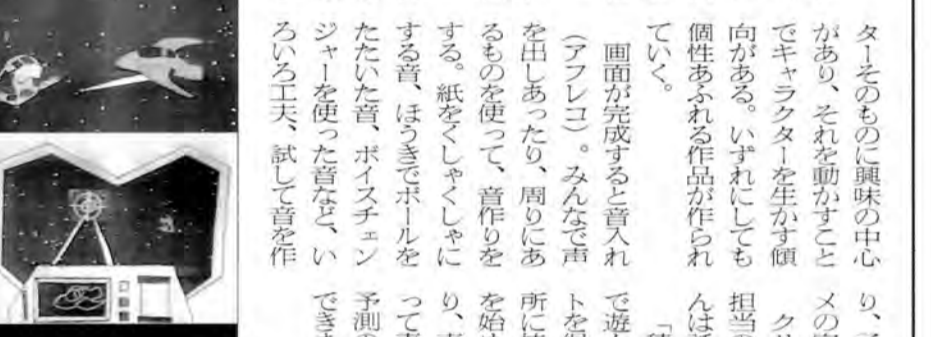
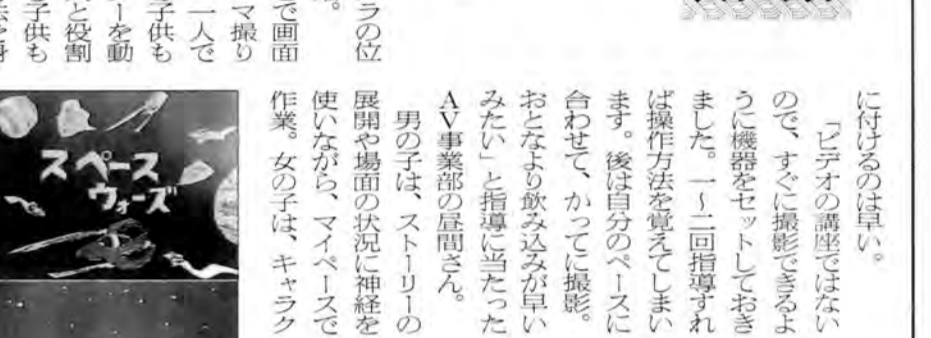
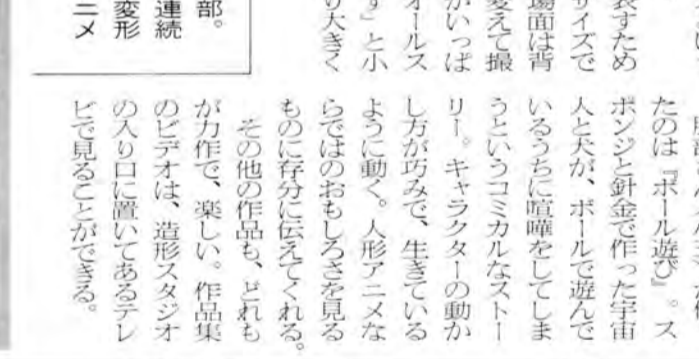
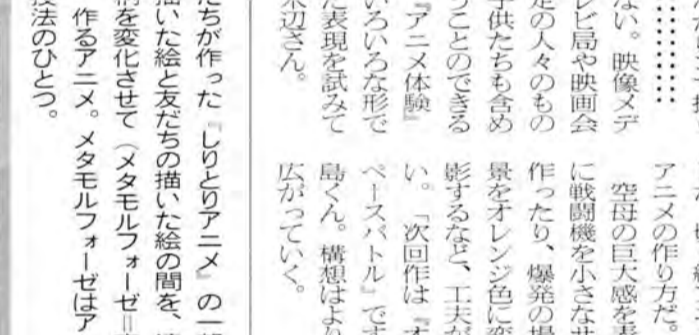
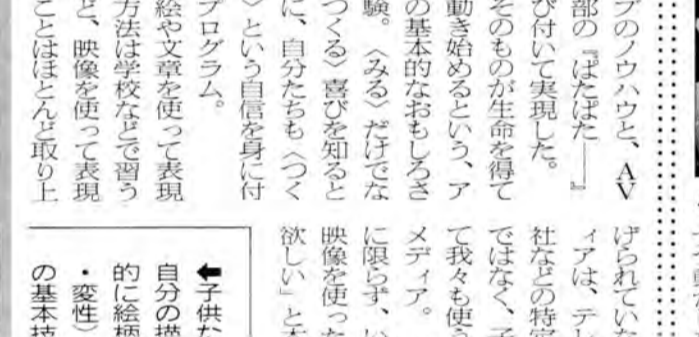
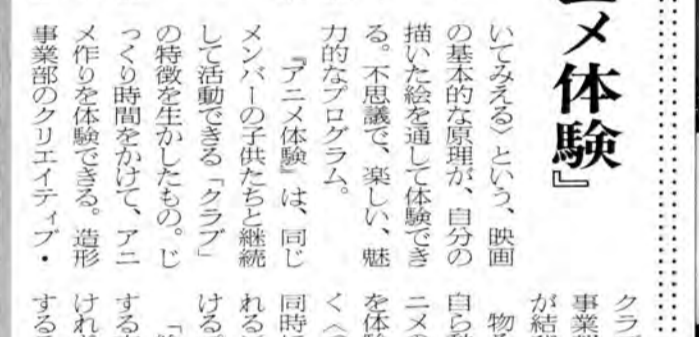
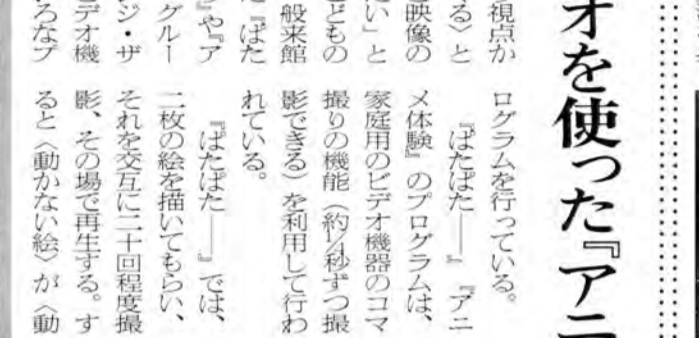
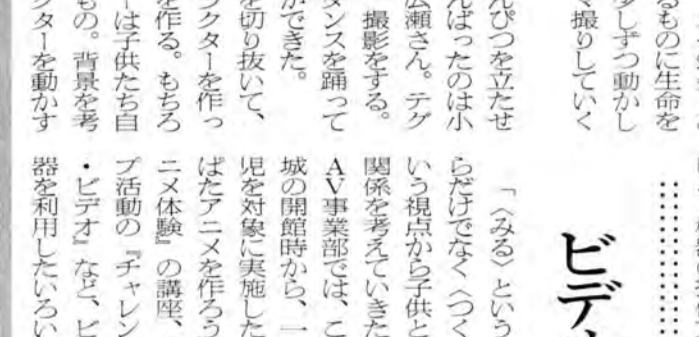
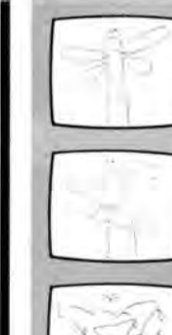
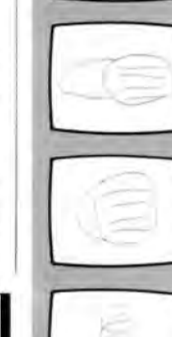
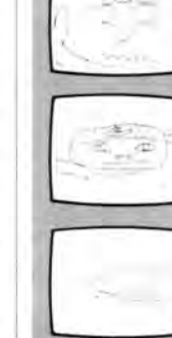
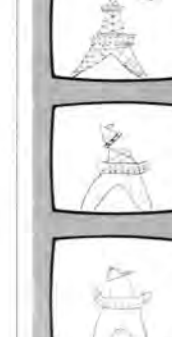
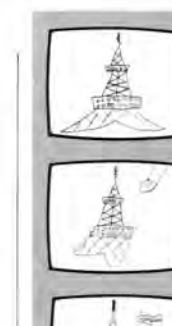
7月21日から夏休み特別期間。マックと仲間たち。さく。きたぐちよしのぶ。丸。あらい えみこ。

7月21日から夏休み特別期間。マックと仲間たち。さく。きたぐちよしのぶ。丸。あらい えみこ。

7月21日から夏休み特別期間。マックと仲間たち。さく。きたぐちよしのぶ。丸。あらい えみこ。

7月21日から夏休み特別期間。マックと仲間たち。さく。きたぐちよしのぶ。丸。あらい えみこ。

7月21日から夏休み特別期間。マックと仲間たち。さく。きたぐちよしのぶ。丸。あらい えみこ。



わすれられない夏をいっしょにつくる旅 わくわくアイランド佐渡

日本ブリタニカでは今夏、小学3年生から中学3年生までの少年、少女を対象に新潟県・佐渡島への体験旅行を企画しています。外国人や地元の人たちとの共同活動を通じた異文化体験―自然を知り、歴史を知り、文化を知り、そして新しい仲間と自分を知る、ひとあじ違った体験の連続です。

野外教育の専門家である古屋顯一先生(信州大学講師)を現地校長として、大学および大学院で野外教育を専攻するスタッフや現役の小学校の先生が同行します。さらに、言語学の専門家ニール・ハリ先生(清真学園女子短期大学講師)と一緒に、国際感覚を育てるゲームや話題を盛り込んだプログラムも展開します。

期間 7月30日～8月5日土の7日間
 泊 佐渡・真野町立「潮津の里」
 定 32人(8人単位でグループ・リーダーが密度の高い指導をします)
 参加費 小学生118,000円 中学生134,000円
 締め切り 6月26日(月)
 申し込み 163-91 東京都新宿区西新宿1-21-1 日本ブリタニカ株 03-345-4188(直)担当:加藤まで

大切にしたいね
 子どもたちの好奇心

日本ブリタニカ株式会社